

多様な性を知り、より自分らしく生きる

～トランスジェンダーとして伝えたいこと～

講師プロフィール

プラウド香川 副代表 高野 晶(タカノ アキ)
1976年11月16日香川県高松生まれ。
ビューティーカウンセラー、エステティシャン
トランスジェンダー・アクティビスト



香川県立高松工芸高等学校美術科、京都精華大学美術学部デザイン学科卒業後、デザイン会社に勤務。
2003年、エステティシャンに転身。以来、美のアドバイザーとして医療の場で、心身ともに多くの女性のケアをする。

同年より高松のセクシュアルマイノリティ(性的少数者)のサポートグループ「プラウド香川」で性同一性障害の当事者として社会的な活動を始め、現在副代表を務める。

2009年に日本で性別適合手術を受け、高松で初めて戸籍の性別を男性から女性に変更した。女性としての生活をより確かなものにする。

2012年にはリカルデントプレゼンツ『わたしが目醒めるプロジェクト』で4400名以上の応募者の中から100人の女性に選出され、世界的に有名なフォトグラファー レスリー・キーの被写体になった。

2018年、全国規模で開催されているLGBTカミングアウトフォトプロジェクト“OUT IN JAPAN”(撮影:レスリー・キー)。瀬戸内地方を対象にした“OUT IN JAPAN SETOUCHI”で代表を務める。ここでは堂々とカミングアウトして被写体になれるLGBTモデルたちを集め、撮影会・写真展を開催した。

現在、トランスジェンダー・アクティビスト(性同一性障害の社会的活動家)として、香川県教育委員会のサポートを中心に、小・中・高校や行政機関、県外の大学、企業の研修などで性同一性障害やLGBT・セクシュアルマイノリティの理解を広めるための講演活動を続けている。